

2024年6月27日(週刊)

最新の開花情報は
公園HPをご覧ください。



① ネムノキが「見頃後半」です。



② アジサイが「見頃後半」です。



③ アナベルが「見頃」です。



④ ハスが「開花始め」です。



⑤ オリエンタルリリーが「見頃」です。





週刊花だより



2024.6.27(木)

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
草花	ハス	ハス	開花 始め	こもれびの里、さざなみ広場	実の形がハチの巣に似ているところからハチスと呼ばれ、変異してハスとなりました。原産地はインドです。
	クロコスミア	アヤメ	開花 始め	花木園展示棟前	乾燥させた花を油に入れたらサフランの香りがすることから、ギリシャ語でサフランと匂いの意味を持つ単語を組み合わせて名前がつけられました。
	キキョウ	キキョウ	開花中	日本庭園、こもれびの丘南斜面 花木園ロックガーデン	根が生薬にもなります。蕾が風船のように膨らむことから英名でバルーンフラワーと呼ばれています。
	ハンゲショウ	ドクダミ	色付中	ハーブ園西側(水鳥の池北岸)	日当たりの良い湿地などで育ちます。花が咲く時期になると葉が一部を残して白色に変化します。
	オリエンタルリリー	ユリ	見頃	西立川口ぶらぶら坂	日本にのみ自生している6品種の固有種を交配してできた新しい品種の総称です。
	アガパンサス	ユリ	見頃	西立川口ぶらぶら坂下 花木園ロックガーデン	アガパンサスはギリシャ語で「愛らしい花」を意味します。花姿が似ていることから別名ムラサキクンシランと呼ばれます。
樹木	リョウブ	リョウブ	開花中	野草のこみち	初夏、長い白色の総花序を咲かせます。新芽は食用になる救荒植物で、飯に炊き込みリョウブ飯として食べられていました。
	ヤマアジサイ	アジサイ	開花中	日本庭園	林内の湿った木陰に自生している植物です。アジサイよりも全体的に小型で、細く柔らかな花姿をご覧ください。
	ノリウツギ	アジサイ	開花中	第3サークル周辺園路沿い ふれあい広場北側斜面	開花始めはガクアジサイのような形状からゆっくり伸びて房状となります。枝をもむとノリのようにべたつく特徴もあります。
	クチナシ	アカネ	開花中	溪流広場レストラン北側	クチナシの実で黄色に染めた黄飯と呼ばれるものが大分県では郷土料理として紹介もされています。
	ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	見頃 始め	玉川上水口周辺	ラッパのような形の花を咲かせるつる性植物であることから、別名ラッパツルクサとも呼ばれています。
	アナベル	アジサイ	見頃	花木園展示棟前、ふれあい橋北	アジサイの仲間です。開花につれ薄緑色から白色に変わります。どこを剪定しても翌年花をつける性質があります。
	タイサンボク	モクレン	見頃	原っぱ東側園路沿い、花木園 ふれあい広場北側斜面	日本では公園樹としてよく植栽される常緑高木です。近縁種のヒメタイサンボクは落葉小高木です。
	カシワバアジサイ	アジサイ	見頃	西立川口ぶらぶら坂下	北米原産のアジサイです。白色の花を円錐状につけ、横向きか下に垂れ下がり咲きます。
	アジサイ	アジサイ	見頃 後半	花木園、ふれあい広場北側斜面	平安時代から歌にも詠まれ親しまれている花です。園内に約9000株のアジサイが植栽されています。
ハーブ園	ネムノキ	マメ	見頃 後半	溪流広場レストラン前、こもれびの里 レイクサイドレストハウス前 こどもの森月の丘近く	日本では、この枝で頭をなでると早起きになる、体をさすって眠りを覚ませば農作業に精が出るなどの言い伝えがあります。
	ブッドレア	ゴマンハグサ	開花中	花木園売店	開花時期に多くの蝶を香りで誘うことから「バタフライブッシュ」の英名があります。日当たりと水はけが良ければ非常に生育が早い植物です。
	ベルガモット	シソ	開花中	ハーブ園、花木園売店	花は唇形で、茎の先端に輪状に花を咲かせます。ハーブティー、香料、薬用に使われることもあります。
こもれびの丘	セイヨウノコギリソウ	キク	開花中	ハーブ園、花木園売店	ヤロウ、アキレアとも呼ばれるハーブです。花に観賞価値がある他、止血作用などの薬効があり、ハーブティーとしても使われます。
	ホタルブクロ	キキョウ	開花中	こもれびの丘南斜面	大きな円筒形の袋のような花を咲かせます。昔、こどもがホタルを花の中に入れて遊んでいたかもしれないと想像して付けられた名前です。
	オカトラノオ	サクラソウ	開花中	こもれびの丘南斜面	花穂をトラのしっぽに見立て、高台によくみられることからこの名が付けました。若芽は食用にもなります。
盆栽苑	床の間展示	山野草の寄せ植え「キキョウ、ネジバナ、ヒメワレモコウ、他数種」をご覧ください。			